

単位数	2	学科・学年・学級	普通科 選択者
教科書	生物基礎 改訂版（啓林館）	副教材等	七訂版 スクエア 最新図説生物（第一学習社） セミナー生物基礎（第一学習社） 進研WINSTEP生物基礎（ラーンズ）

1 学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	第4部 生物の多様性と生態系 第1節 多様な植生と遷移	1 植物と環境のかかわり 2 さまざまな植生 3 植生の遷移	世界と日本のバイオームの種類と分布を理解し、それぞれに生育する植物が環境に適応しているものであることを理解する。	関心、意欲 提出物分析
	5		1 バイオーム		
			第1回定期考査		第1回考査
	6	第3節 生態系とその保全 第1部 生物の特徴	1 生態系の成り立ち 2 物質の循環とエネルギー 3 生態系のバランスと保全 1 生物の多様性と共通性	生態系を構成する生物は、一定の範囲内での変動をつねにくり返しなが、全体としてバランスを維持していることを理解する。	関心、意欲 提出物分析
	7		第2回定期考査		第2回考査
	9	第1部 生物の特徴	2 細胞とエネルギー	地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。細胞には原核細胞と真核細胞があることと、真核細胞が誕生した経緯を理解する。	実験レポート 関心、意欲 提出物分析
後期	10	第2部 遺伝子とその働き	1 遺伝情報とDNA 2 遺伝情報の複製と分配 3 遺伝情報とタンパク質の合成	形質、および核・染色体・DNA・遺伝子の関係について理解する。 生命現象とタンパク質について、また、遺伝情報に従って合成されたタンパク質が体内で酵素などとしてさまざまな働きを担っていることを理解する。	関心、意欲 提出物分析
			第3回定期考査		第3回考査
	11 12	第3部 生物の体内環境の維持	1 体内環境と恒常性 2 体内環境の維持の仕組み 3 免疫	恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。 体内環境が自律神経系と内分泌系によって維持されていることを理解する。 免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。	関心、意欲 提出物分析
			第4回定期考査		第4回考査

3

知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、身近な原理や法則について理解し、日常生活や社会との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、知識・技能を適切かつ効果的に用いている。
主体的に学習に取り組む態度	日常生活や社会との関連について考えながら、それらに主体的に関わり、科学的に探究するための知識・技能等を活用しようとするとともに、その取組を自ら評価し改善しようとしている。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

- 1 家庭学習は予習復習を意識しながら進めましょう。予習では語句などの確認を、復習では定着を心がけてください。
- 2 授業では板書を移すだけに終わることなく、自ら気になったこと、理解したことなども記入しておきましょう。
- 3 学力向上のため実験レポートや発展課題は主体的に取り組みましょう。